

2010年12月8日

東北大学SSD PBLスタジオ1メディア軸 (第3回)

タイトル：誰でもメディア時代の書店とミニコミ、そして出版メディアのゆくえ  
発表者：阪根正行 (ジュンク堂書店新宿店人文書担当、批評誌アラザルメンバー)

## 1. フェア・イベント活動の軌跡 (2010年)

### [フェア]

- 演劇フェア ( ~ 2010.1)
- ミニコミ2.0フェア ( ~ 2010.2)
- 松岡正剛フェア (2010.1)
- 文学拡張大作戦フェア1期、2期 ( 2010.1~ 2010.2)
- 哲学と政治経済フェア (2010.2)
- リア充フェア (2010.4)
- ◎ ディアスポラ文学フェア (2010.4)
  - ・紀伊國屋書店との連動フェア
- ◎ 福嶋亮大フェア (2010.5)
  - ・フェア、トークイベント (全5回)、ジュンクウェブサイト、ユリイカ特集
- 西山雄二&萱野稔人フェア (2010.5)
- 書物への愛フェア (2010.5)
- 界遊フェア (2010.6~7)
- 政治哲学を学ぼう (サンデル) フェア (2010.6~)
- ◎ 福永信フェア (2010.6)
  - ・星占いカード付き書籍販売 (ジュンク新宿店限定)
- 柴崎友香フェア (2010.9)
- 村上春樹で読み解く文学と音楽フェア (2010.9~)
- ◎ 大杉栄復活祭!! (中森明夫フェア) (2010.9~)
  - ・フェア、トークイベント (全4回)、ニコ生中継、著者ツイート&告知
- 10年代の日本文化のゆくえ (2010.9)
- 生き残る (ための) 芸術フェア (組立フェア) (2010.10)
- 内田樹フェア (2010.10)
- ◎ 佐々木中フェア (2010.11~)
  - ・フェア (同時多発)、トークイベント、選書リスト

### [トークイベント]

多数

## 2. 書店売場の業態変化

### [キーワード]

- ・コミュニティの場
- ・インディペンデント

松丸本舗

<http://www.matsumaru-hompo.jp/>

BACH (幅允孝)

<http://www.bach-inc.com/>

旅の本屋 : BOOK246

<http://www.book246.com/>

ブルックリン・パーラー

<http://www.brooklynparlor.co.jp/>

六本木ライブラリー

<http://www.academyhills.com/library/>

84ism

<http://84ism.jp/>

ART and ARCHITECTURE REVIEW (藤村龍至)

<http://aar.art-it.asia/top/>

HEADZ (佐々木敦)

<http://www.faderbyheadz.com/>

組立 (永瀬恭一)

<http://d.hatena.ne.jp/nagase001/20080225>

四谷アート・ステュディウム (岡崎乾二郎)

<http://artstudium.org/>

SSD (せんだいスクール・オブ・デザイン)

<http://sendaischoolofdesign.jp/>

MISA (池田昌弘)

<http://www.ikedaatelier.com/misa/>

こまばアゴラ劇場 (平田オリザ)

<http://www.komaba-agera.com/>

コンテクチュアズ

<http://contectures.jp/>

- ・友の会の設立 (会報誌、会員限定のイベント開催)
- ・既存の制度に依存しない / ストリートの思想
  
- ・インディペンデントの出版メディア活動
  - ・建築と日常 (長島明夫)
  - ・生活考察 (辻本力)
  - ・millegraph (富井雄太郎)
  - ・flickstudio (磯達雄)

### 3. ミニコミ事情

#### ・文学フリマの盛況

- ・2002年11月3日に第1回開催
- ・2010年12月5日第11回開催、540ブース（来場者3,400名）
- ※90年代末 同人誌ブーム（macの普及）
- ※昨今の盛上がり（indesignの普及、印刷所へデジタルデータ入稿可能に）

#### ・創作系（小説、ライトノベル、詩歌など）と批評系

##### ・出展者類別

- ・小説、ライトノベル
- ・ライター&デザイナー、イラストレーター、漫画家
- ・セミプロ
- ・プロ
- ・創作講座、批評講座
- ・電書（電子書籍）
- ※女子批評家による批評誌
- ※建築系批評誌の参戦

##### ・みどころ

- ・デザイン性
- ・流通を前提としない書籍
- ・文芸ファンであり、自らも創作

⇒ 文学ファンの《場》としては優れている。

自らも書いて、知人のブースを覗いて新作を購入、そして読むという交流。

#### ・ミニコミの課題

- ・文フリでは売れても、店頭販売では苦戦
- ・上昇志向の強いグループとそうでないグループがはっきり分かれる。
- ・プロの雑誌と比較して
  - ・校正能力には歴然とした差がある。
  - ・継続的に販売する力に差がある。

※ミニコミでの活動をきっかけにプロとして活動し始める人もちらほら出てきている。

→新人賞デビューのオルタナティブ

※プロの出版活動を脅かす存在に（クソゲー問題も含め）

- ・プロも油断できない。また告知活動が重要に。

#### 4. 出版メディアのゆくえ

→「書く能力」と「売る能力」を兼ね備える必要がある。

※ミリオンセラーは事故。目指すものではない。

- ・第二の『1Q84』、第二の宇多田ヒカルを求めるな！

※お金が発生する土壌／基盤というものを如何にして成立させるのか？

- ・似非原（Sayonara/kanekureRecords）さんからのコメント

※作家は作品を制作するだけでよいのか？

- ・奈良美智さんの発言をめぐって

※他者に対して作品が開かれていることの必要性

- ・投壘通信をめぐって
  - ・浅田彰発言
  - ・ロシアの詩人マンデリシュタームの文脈

※芸術活動とは？

- ・カントやデリダにおける「アート」の定義からの考察
  - ・アートと労働の区別
  - ・雄弁と詩の区別

おまけ：伝える能力の極め？

- ・田村ゆかり（これを単なるポピュリズムと切り捨てられる？）  
<http://www.youtube.com/watch?v=5P7x4MMqNDg>